

【くるま座】談会

21 世紀のサステイナビリティ学を語ろう！

① [日時] 2016 年 5 月 7 日(土曜日) 13 時～15 時

[内容] 「PM2.5 やオゾン：

広域・越境大気汚染と気候変動」

[話題提供] 北 和之 (茨城大学理学部教授)

② [日時] 2016 年 7 月 2 日(土曜日) 13 時～15 時

[内容] 「有機農業について語ろう！」

[話題提供] 小松崎 将一 (茨城大学農学部教授)

茨城大学では、21 世紀になって生まれたサステイナビリティ学（持続可能性学）の諸問題に、地球変動適応科学研究機関（Institute for Global Change Adaptation Science: ICAS）が中心となって取り組んでいます。私たちは、多くの市民がその対話の輪に参加して一緒に取り組むことが不可欠だと考えています。今回の講座は、昨年度に引き続き、2 人の専門家がそれぞれ分野の最先端を紹介し、それらについて「くるま座」になって語りあう場を提供します。一緒に大いに語りあいましょう！

[コーディネーター] 伊藤哲司 (ICAS 機関長・茨城大学人文学部教授)

[場所] 茨城大学図書館 1 階ラーニングコモンズ

[後援] 茨城大学地球変動適応科学研究機関 (ICAS)

※申し込み不要、入場無料、どなたでもご参加いただけます。